

学習指導要領		東京都立松原高等学校 学カスタンダード
<p>(1) 世界史への扉</p>	<p>自然環境と人類のかかわり、日本の歴史と世界の歴史のつながり、日常生活にみる世界の歴史にかかわる適切な主題を設定し考察する活動を通して、地理と歴史への関心を高め、世界史学習の意義に気付かせる。</p> <p>ア 自然環境と人類のかかわり 自然環境と人類のかかわりについて、生業や暮らし、交通手段、資源、災害などから適切な歴史的事例を取り上げて考察させ、世界史学習における地理的視点の重要性に気付かせる。</p> <p>イ 日本の歴史と世界の歴史のつながり 日本と世界の諸地域の接触・交流について、人、もの、技術、文化、宗教、生活などから適切な歴史的事例を取り上げて考察させ、日本の歴史と世界の歴史のつながりに気付かせる。</p> <p>ウ 日常生活にみる世界の歴史 日常生活にみる世界の歴史について、衣食住、家族、余暇、スポーツなどから適切な事例を取り上げて、その変遷を考察させ、日常生活からも世界の歴史がとらえられることに気付かせる。</p>	<p>人類は、自然環境の制約を受けると同時に、自然環境に積極的に働きかけ、適応すべき諸手段を開発してきたことを理解し、世界史学習における地理的視点の重要性に気付く。</p> <p>日本と世界の諸地域との相互交流を理解する。</p> <p>世界の人々の身近に存在し、日常的に利用したり、習慣化したりしている事柄について、その起源や変遷などを理解する。</p>
<p>(2) 諸地域世界の形成</p>	<p>人類は各地の自然環境に適応しながら農耕や牧畜を基礎とする諸文明を築き上げ、やがてそれらを基により大きな地域世界を形成したことを把握させる。</p> <p>ア 西アジア世界・地中海世界 西アジアと地中海一帯の地理的特質、オリエント文明、イラン人の活動、ギリシア・ローマ文明に触れ、西アジア世界と地中海世界の形成過程を把握させる。</p>	

学習指導要領		東京都立松原高等学校 学カスタンダード
(3) 諸 地 域 世 界 の 交 流 と 再 編	<p>イ 南アジア世界・東南アジア世界</p> <p>南アジアと東南アジアの地理的特質、インダス文明、アーリヤ人の進入以後の南アジアの文化、社会、国家の発展、東南アジアの国家形成に触れ、南アジア世界と東南アジア世界の形成過程を把握させる。</p>	<p>南アジア世界の形成、特に仏教の伝播について理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インド古代文明</li> <li>・東南アジア世界と海の道</li> </ul>
	<p>ウ 東アジア世界・内陸アジア世界</p> <p>東アジアと内陸アジアの地理的特質、中華文明の起源と秦・漢帝国、遊牧国家の動向、唐帝国と東アジア諸民族の活動に触れ、日本を含む東アジア世界と内陸アジア世界の形成過程を把握させる。</p>	<p>東アジア世界の形成過程。特に日本と朝鮮・中国の交流の歴史を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国文明の形成</li> <li>・中国古代帝国の成立</li> <li>・2世紀までの朝鮮半島と日本列島</li> <li>・胡漢融合帝国の誕生</li> <li>・3～9世紀の朝鮮半島と日本列島</li> </ul>
	<p>エ 時間軸からみる諸地域世界</p> <p>主題を設定し、それに関連する事項を年代順に並べたり、因果関係で結び付けたり、地域世界ごとに比較したりするなどの活動を通して、世界史を時間的なつながりに着目して整理し、表現する技能を習得させる。</p>	<p>各範囲について、グループワークなどを行い、資料を多面的・多角的に考察させる。</p>
	<p>ユーラシアの海域及び内陸のネットワークを背景に、諸地域世界の交流が一段と活発化し、新たな地域世界の形成や再編を促したことを把握させる。</p>	
	<p>ア イスラーム世界の形成と拡大</p> <p>アラブ人とイスラーム帝国の発展、トルコ系民族の活動、アフリカ・南アジアのイスラーム化に触れ、イスラーム世界の形成と拡大の過程を把握させる。</p>	<p>イスラーム教の成立過程、イスラーム世界の拡大の過程を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イスラーム帝国の成立</li> <li>・各地のイスラーム国家</li> <li>・イスラームの都市と文化</li> </ul>

学習指導要領		東京都立松原高等学校 学カスタンダード
<p>イ ヨーロッパ世界の形成と展開 ビザンツ帝国と東ヨーロッパの動向、西ヨーロッパの封建社会の成立と変動に触れ、キリスト教とヨーロッパ世界の形成と展開の過程を把握させる。</p>	<p>ヨーロッパ世界の成立と拡大の歴史を理解する。キリスト教の発展について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西ヨーロッパ世界の成立</li> <li>・ビザンツ帝国と東ヨーロッパ</li> <li>・封建社会の動揺と地域国家の形成</li> <li>・中世ヨーロッパの社会と文化</li> </ul>	
<p>ウ 内陸アジアの動向と諸地域世界 内陸アジア諸民族と宋の抗争、モンゴル帝国の興亡とユーラシアの諸地域世界や日本の変動に触れ、内陸アジア諸民族が諸地域世界の交流と再編に果たした役割を把握させる。</p>	<p>宋・元の歴史と日本との関係を理解する。 元を通しての日本とヨーロッパのつながりについて理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央ユーラシア諸民族と東アジア世界の変容</li> <li>・モンゴル帝国の成立</li> <li>・東南アジアの再編</li> <li>・10～13世紀の朝鮮半島と日本列島</li> </ul>	
<p>エ 空間軸からみる諸地域世界 同時代性に着目して主題を設定し、諸地域世界の接触や交流などを地図上に表したり、世紀ごとに比較したりするなどの活動を通して、世界史を空間的なつながりに着目して整理し、表現する技能を習得させる。</p>	<p>同時代性に着目して設定した主題について、諸地域世界の接触や交流などを地図上に表したり、世紀ごとに比較したりするなどして、歴史的事象の空間的関係を把握し、その時代の世界の特質や地域世界相互のかかわりを明らかにすることができる。</p>	
<p>(4) 諸地域世界の結合と変容 アジアの繁栄とヨーロッパの拡大を背景に、諸地域世界の結合が一層進展したこととともに、主権国家体制を整え工業化を達成したヨーロッパの進出により、世界の構造化が進み、社会の変容が促されたことを理解させる。</p>	<p>ア アジア諸地域の繁栄と日本 西アジア・南アジアのイスラーム諸帝国や東南アジア海域の動向、明・清帝国と日本や朝鮮などとの関係を扱い、16世紀から18世紀までのアジア諸地域の特質とその中での日本の位置付けを理解させる。</p>	
<p>ア アジア諸地域の繁栄と日本 西アジア・南アジアのイスラーム諸帝国や東南アジア海域の動向、明・清帝国と日本や朝鮮などとの関係を扱い、16世紀から18世紀までのアジア諸地域の特質とその中での日本の位置付けを理解させる。</p>	<p>オスマン帝国、サファビー朝、ムガル帝国の歴史を理解する。明・清と日本の歴史を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央ユーラシア世界と西アジア世界の帝国</li> <li>・南アジア世界の帝国</li> <li>・東南アジア諸国と第2次大交易時代</li> <li>・東アジア世界の帝国</li> <li>・14～18世紀の朝鮮半島と日本列島</li> </ul>	

学習指導要領		東京都立松原高等学校 学カスタンダード
<p>イ ヨーロッパの拡大と大西洋世界 ルネサンス、宗教改革、主権国家体制の成立、世界各地への進出と大西洋世界の形成を扱い、16世紀から18世紀までのヨーロッパ世界の特質とアメリカ・アフリカとの関係を理解させる。</p>	<p>ヨーロッパの対外進出と諸地域との関係について理解する。ルネサンス・宗教改革などヨーロッパ内部の変化について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパの対外進出</li> <li>・第2次大交易時代と海域アジア</li> <li>・ルネサンスと宗教改革</li> <li>・絶対主義国家の時代</li> <li>・植民地獲得戦争の時代</li> <li>・近世ヨーロッパの社会と文化</li> </ul>	
<p>ウ 産業社会と国民国家の形成 産業革命、フランス革命、アメリカ諸国の独立など、18世紀後半から19世紀までのヨーロッパ・アメリカの経済的、政治的変革を扱い、産業社会と国民国家の形成を理解させる。</p>	<p>産業革命の影響、市民革命の過程と国民主権国家の成立について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イギリスの産業革命</li> <li>・南北アメリカの革命</li> <li>・フランス革命とナポレオン帝政</li> <li>・ウィーン体制と1848年の革命</li> <li>・19世紀後半のヨーロッパとアメリカ</li> <li>・19世紀後半のヨーロッパとアメリカの社会と文化</li> </ul> <p>ヨーロッパ諸国によるアジア・アフリカ・ラテン＝アメリカへの植民地化の過程、それに対する諸地域の近代化の試みについて理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西アジアの改革運動</li> <li>・インドの植民地化と民族運動</li> <li>・中華帝国の崩壊</li> </ul>	

学習指導要領		東京都立松原高等学校 学カスタンダード
	<p>エ 世界市場の形成と日本 世界市場の形成、ヨーロッパ諸国のアジア進出、オスマン、ムガル、清帝国及び日本などアジア諸国の動揺と改革を扱い、19世紀のアジアの特質とその中で日本の位置付けを理解させる。</p> <p>オ 資料からよみとく歴史の世界 主題を設定し、その時代の資料を選択して、資料の内容をまとめたり、その意図やねらいを推測したり、資料への疑問を提起したりするなどの活動を通して、資料を多面的・多角的に考察し、よみとく技能を習得させる。</p>	<p>オスマン、ムガル、清帝国及び日本などアジア諸国の動揺と改革</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西アジアにおいてワッハブ派やウラービー運動、バーブ運動に見られるイスラーム改革運動やアラブ民族運動が起きたことについて理解する。</li> <li>・インドの植民地化を進める中で、イギリス東アジア会社の性格が変化していったことを理解する。</li> <li>・東南アジア諸地域でヨーロッパ諸国が大規模なプランテーション経営を展開したこととその影響を理解する。</li> <li>・アヘン戦争に至るイギリスの対中国政策の推移、南京条約・北京条約の内容について理解する。</li> <li>・太平天国の運動の民族主義的性格について理解するとともに、その後に展開された洋務運動の限界について理解する。</li> <li>・明治維新により近代化を進めた日本の対外政策について理解する。</li> </ul> <p>設定した主題にかかわる文字資料や、絵画、風刺画、写真などの図像資料を取り上げ、内容、狙いなどについて考察し、その時代の人々が自分たちの時代や社会をどうとらえ、どう表現しようとしたかを理解することができる。</p>

学習指導要領		東京都立松原高等学校 学カスタンダード
<p>(5) 地球世界の到来</p>	<p>科学技術の発達や生産力の著しい発展を背景に、世界は地球規模で一体化し、二度の世界大戦や冷戦を経て相互依存を一層強めたことを理解させる。また、今日の人類が直面する課題を歴史的観点から考察させ、21世紀の世界について展望させる。</p> <p>ア 帝国主義と社会の変容 科学技術の発達、企業・国家の巨大化、国民統合の進展、帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応、国際的な移民の増加などを理解させ、19世紀後期から20世紀初期までの世界の動向と社会の特質について考察させる。</p> <p>イ 二つの世界大戦と大衆社会の出現 総力戦としての二つの世界大戦、ロシア革命とソヴィエト連邦の成立、大衆社会の出現とファシズム、世界恐慌と資本主義の変容、アジア・アフリカの民族運動などを理解させ、20世紀前半の世界の動向と社会の特質について考察させる。</p>	<p>帝国主義諸国の抗争過程を理解する。これに対する諸地域の民族運動や改革運動について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三国同盟と三国協商</li> <li>・バルカン問題</li> </ul> <p>二つの世界大戦が起きた歴史経過を理解する。社会主義国の成立について理解する。</p> <p>アジア・アフリカ諸国の独立の過程を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第一次世界大戦の勃発</li> <li>・第一次世界大戦の経過</li> <li>・第一次世界大戦とロシア革命</li> <li>・ソ連の成立</li> <li>・パリ講和会議と国際連盟</li> <li>・ベルサイユ体制と国際協調</li> <li>・第一次大戦戦勝国の情勢</li> <li>・アジアの民族運動</li> <li>・中国の国民革命</li> <li>・世界恐慌とファシズム</li> <li>・ブロック経済の形成</li> <li>・ドイツ・イタリアの対外侵略</li> <li>・スターリンの独裁</li> <li>・満州事変と抗日運動</li> <li>・第二次世界大戦直前のヨーロッパ</li> <li>・第二次世界大戦のヨーロッパでの経過</li> <li>・第二次世界大戦のアジア・太平洋での経過</li> <li>・日本の植民地支配と抗日運動</li> </ul>

学習指導要領	東京都立松原高等学校 学カスタンダード
<p>ウ 米ソ冷戦と第三世界</p> <p>米ソ両陣営による冷戦の展開、戦後の復興と経済発展、アジア・アフリカ諸国の独立とその後の課題、平和共存の模索などを理解させ、第二次世界大戦後から 1960 年代までの世界の動向について考察させる。</p> <p>エ グローバル化した世界と日本</p> <p>市場経済のグローバル化とアジア経済の成長、冷戦の終結とソヴィエト連邦の解体、地域統合の進展、知識基盤社会への移行、地域紛争の頻発、環境や資源・エネルギーをめぐる問題などを理解させ、1970 年代以降の世界と日本の動向及び社会の特質について考察させる。</p>	<p>米ソによる冷戦の時代について理解する。 非同盟諸国を中心とする平和共存の動きについて理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第二次世界大戦の戦後構想と戦争の終結</li> <li>・国際連合の設立</li> <li>・冷戦の開始</li> <li>・第二次世界大戦後のアメリカ史</li> <li>・第二次世界大戦後のソ連史</li> <li>・第二次世界大戦後のアフリカ史</li> <li>・第二次世界大戦後の東南アジア史</li> </ul> <p>東欧革命・ソ連の崩壊後の冷戦終結後の歴史を理解する。一方、西アジアを中心とする地域紛争の歴史的背景について理解する。 各範囲について、グループワークなどを行い、資料を多面的・多角的に考察させる</p> <p>市場経済のグローバル化とアジア経済の成長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカ合衆国の貿易収支が赤字になった背景を理解する。</li> <li>・第四次中東戦争の勃発と第一次石油危機の発生を理解する。</li> <li>・先進工業国で、省エネ対策、代替エネルギーの開発、先進技術開発が進む中で、貿易摩擦が激化したことを理解する。</li> </ul> <p>冷戦の終結とソヴィエト連邦の解体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国における改革・開放路線の推進と天安門事件、ヴェトナムにおけるドイ=モイ政策の推進を理解する。</li> <li>・ソヴィエト連邦のペレストロイカが東欧諸国の民主化に与えた影響を理解する。</li> <li>・東欧諸国の民主化、冷戦の終結、ソヴィエト連邦の解体の一連の歴史的過程を理解する。</li> </ul> <p>地域統合の進展</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・EU の取組を EC と比較し、EU の特徴を理解する。</li> </ul>

学習指導要領	東京都立松原高等学校 学カスタンダード
<p>オ 資料を活用して探究する地球世界の課題</p> <p>地球世界の課題に関する適切な主題を設定させ、歴史的観点から資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、資料を活用し表現する技能を習得させるとともに、これからの世界と日本の在り方や世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について展望させる。</p>	<p>地球的諸課題をめぐる問題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧ユーゴスラヴィア内戦の原因と経過、結果を理解する。</li> <li>・2001年に発生した同時多発テロ事件とその後の対テロ戦争について理解する。</li> <li>・環境や資源・エネルギー問題が発生してきた歴史的背景を理解する。</li> </ul>